

# 介護職員(実務者)養成科 受講生募集のご案内



介護福祉士国家試験の受験者は、福祉系高校を卒業された方を除き3年以上の実務経験に加えて「実務者研修」の受講が義務づけられています。この研修を受講すると介護福祉士国家試験の実技試験は**免除!**就職にとっても有利な介護の上級資格を今、取得しよう!

訓練科名	119 介護職員(実務者)養成科
応募資格	次のいずれにも該当する方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共職業安定所(ハローワーク)に求職申し込みをされている方</li> <li>・公共職業安定所長の受講指示、受講推薦又は支援指示を受けられる方</li> <li>・看護師、ホームヘルパー(2級、1級)、介護職員基礎研修、介護職員(初任者)養成研修修了資格を<b>取得していない方</b></li> </ul>
定員	20名 (ただし、選考後の受講予定者が8名に満たない場合、中止となる場合があります)
訓練期間	平成28年9月6日(火)～平成29年3月3日(金) 9:00～16:00 (土・日・祝日および12/28～1/3はお休み)※施設実習期間中は上記時間帯と異なる場合があります。
訓練内容	介護従事者としての職業倫理と態度を養い訪問介護や施設介護における利用者の状態に応じた身体の世話や日常生活の自立支援、医療的ケアに関する知識・技能及び基本的なパソコン技能を習得する。
目標資格	介護福祉士実務者研修修了(原則、遅刻・早退・欠席をしないこと及び修了評価合格が条件となります)
主な就職先	訪問介護事業所(ホームヘルパー)、デイサービス、特別養護老人ホーム、グループホームなど
受講料	<b>無料</b> ただし、テキスト代13,824円(予定価格)、及び健康診断にかかる費用が別途必要です。
駐車場	有 / 有料(10,800円/月)
募集期間	平成28年7月14日(木)～平成28年8月17日(水)
選考日	平成28年8月23日(火)10:00から (適性検査・面接があります) 第2ボルファートビル1F(下図参照) ※選考に係る連絡はしませんので、入校願書を提出された方は、上記場所に9:45まで集合の上、選考を受けてください。(鉛筆2本持参)
合格発表日	平成28年8月31日(水)
申し込みのお問合せ先	最寄りの公共職業安定所(ハローワーク) もしくは富山県商工労働部職業能力開発課(Tel:076-444-3260)
主催	富山県技術専門学院 富山市向新庄町1-14-48 Tel:076-451-3508
実施機関	企業組合労協センター事業団サポートハウスぽぴー 〒930-0875 富山市寺町けや木台71 Tel :076-444-8633 E-Mail: bolttoyamapp@roukyou.gr.jp http://www.workers-coop.com/honbu/hokusin/
訓練内容のお問合せ先及び選考・訓練場	富山市奥田新町7-35 第2ボルファートビル1F 企業組合労協センター事業団 富山地域福祉事業所 (右図参照) Tel:076-433-2311 担当:村上



委託訓練カリキュラム

実施場所・施設名		富山市奥田新町7番35号 第2ボルファートビル1F				
訓練科名		119 介護職員(実務者)養成科	就職先の職務	訪問介護職、施設介護員、訪問介護事業所におけるサービス提供責任者		
訓練期間		平成28年9月6日(火)～平成29年3月3日(金) 6か月	訓練人員	最少開講人員8名から 定員20名		
訓練内容		介護従事者としての職業倫理と態度を養い訪問介護や施設介護における利用者の状態に応じた身体の世話や日常生活の自立支援、医療的ケアに関する知識・技能及び基本的なパソコン技能を習得する。				
習得能力		介護事務所において利用者の状態に応じた訪問介護及び施設介護ができる。				
目標資格		介護福祉士実務者研修修了				
科目		科目の内容		時間		
訓練	学	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	7時間		
		社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6時間		
		社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	44時間		
		介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	13時間		
		介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	26時間		
		コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	27時間		
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	25時間		
		発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	13時間		
		発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	26時間		
		認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	13時間		
		認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	26時間		
		障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	13時間		
		障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害児者への支援の実際	29時間		
		医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	63時間		
		こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	25時間		
		試験対策	修了試験、修了試験解説	10時間		
		就職支援	履歴書の作成ポイント、面接の受け方、職場でのコミュニケーション、オリエンテーションなど	17時間		
		の内	実	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備、福祉用具の活用等の視点	27時間
				生活支援技術Ⅱ	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	39時間
介護過程Ⅱ	利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察			32時間		
介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術の評価			57時間		
こころとからだのしくみⅡ(利用者の心身理解演習)	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)			80時間		
医療的ケア演習	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります。			24時間		
施設実習	施設実習			30時間		
パソコン、インターネット実技	ワープロソフトでのビジネス文書の作成、表計算ソフトによる表作成の基礎、インターネット検索、メールソフトの使い方など			12時間		
総括実習	介護予防、実技評価試験、総合実技演習			10時間		
職場見学、職場体験、職業人講話	訓練修了後に就職を想定する職種等の職場見学や職場体験、当該職種従業者による職業人講話			6時間		
訓練時間総合計 700 時間 (学科383時間、実技317時間)						
主要な機器設備	介護用ベッド、車椅子、介護浴槽、パソコン、プロジェクタ 他		教材費等計	13,824円		
受講対象	・初心者・他(程度)		検定料計	別途、健康診断に係る費用		